



## ◆第二回◆

開 会 一月三十日

次の議案を審議し、原案どおり可決しました。

### ◎平成十七年度せたな町一般会計補正予算（第五号）

当初見込んだ予算のうち、灯油やガソリン、重油など燃料単価の相次ぐ値上げに伴い見込まれる経費のほか、例年に見込まれる寒波の襲来による降雪量の増に伴い、町道などの排雪委託業務経費などについて補正するもの。

予算総額は、歳入歳出それぞれ二千十五万一千円を追加し、七十九億七千六百七十五万七千円となりました。

### ○平成十七年度せたな町介護保険事業特別会計補正予算（第二号）

介護保険法の一部改正に伴い、地域包括支援センター開設準備経費と施設サービス給

付費の精査について補正するもの。

予算総額は、歳入歳出それぞれ二千六百八十三万円を減額し六億七千七百七十二万四千円となりました。

### ○平成十七年度せたな町立国民健康保険病院事業会計補正予算（第一号）

平成十八年度から病院及び診療所の病院事業会計統一に伴う財務管理一元のため、企業会計財務システム導入経費の債務負担行為について補正するもの。

期間及び限度額については、平成十八年度から平成二十二年までで、一千七十万円となりました。

### ○せたな町長の給料月額額の支給の特例に関する条例

北部檜山衛生センター組合にて交付税の事務的試算の見込み誤りから、年度途中において構成町に対し新たに多額の財政負担を生じさせてしまったことに対し、当組合の構成町を代表する組合長として、

更には町議会並びに町民の皆さんに組合事務の信頼を損ねたことに対し深くお詫び申し上げるとともに、せたな町長として行政執行上の責任と取らせていただくため、本条例を制定するもの。

### ○せたな町合併特例区の設置等に関する規約の一部を変更する協議

コミュニティ団体が実施する花いっぱい運動事業を瀬棚区、北檜山区と同様に大成区の事業とするため、規約の一部を変更するもの。

### ○せたな町過疎地域自立促進市町村計画の策定

過疎地域自立促進特別措置法の規定に基づき策定した、旧北檜山町・旧瀬棚町・旧大成町過疎地域自立促進市町村計画を、町村合併に伴いせたな町としての計画を策定するにあたり、議会の議決を得るもの。

○平成十七年度檜山北部広域連合一般会計歳入歳出決算認定  
《認定》

○平成十七年度檜山北部広域連合介護保険特別会計歳入歳出決算認定《認定》



## 委員会

## レポート

### 総務・厚生連合

一、調査年月日

平成十八年二月七日

二、調査項目

①新町における国民健康保険税について

三、調査結果

（一）新町における国民健康保険税について

町執行側から、議員協議会において平成十八年度における国民健康保険税の取扱いについて提案され、次のとおり説明を受けた。

○国民健康保険税を平準化

（均一）した場合

①元来、各区の所得水準が違

うために、それぞれの療養諸費に対応する税率で賦課されてきているが、その税率を平

準化（均一）にすることは、

低い税率であった北檜山区の町民に多大なる影響が生じ、納税意識の低下を招く恐れがある。

②歳入予算に占める税收を満たす税率となるため、上昇率が非常に高くなることが予想される。反面、北檜山区を基

準として段階的に税率を上昇させた場合、必要とする税收が確保できない状況となる。

○国民健康保険税を不均一課税した場合

①合併特例法第十条で認めら

れている、平成十七年度から五年以内で平準化（均一）しなければならぬ。

②一般会計繰入金の基盤安定繰入（税軽減分）については、国民健康保険税の賦課割合

（応能・応益割合）で基準（五

〇：五〇の±五）を満たさなければならぬ、二年続くとその年度から基準から外れる

こととなり、税軽減分の繰入が見込めなくなる。そのため、各区単位でこの賦課割合の基

準を満たす必要があり、北檜山区、大成区は平成十七年度

課税において基準を満たしていないことから、平成十八年度課税において賦課割合の是

正が必要である。

③北檜山区は、試算上「所得割を二％上昇」、「資産割を五

％上昇」させることで、基準を満たすこととなる。

④大成区は、所得税率が一三・三二％と既に高い水準で

あることから、基準を満たすよう均等割・平等割の各金額

を下げる必要がある。

⑤不均一課税を実施した場合の不足額に対する対応策とし

ては、財政調整基金から四千万円を繰入し、一般会計繰入金（法定外）分として不足額相当（約一千八百八十万円）を補填することとなる。

### ○連合審査会としての意見

各区における税率の大きな格差や、国民健康保険制度上

の問題点等を加味し、提示された資料を検討した結果、不

均一課税方式の実施をやむを得ないものと認めるが、合併

特例法で認められている期間の平成二十一年度までに平準

化し、また、各区の標準世帯を推計し税額増減等と併せ、

町民に対し説明してわかりやすい資料を提示されたいとの

意見である。

## 総務文教

### 一、調査年月日

平成十八年二月二十七日

### 二、調査項目

①北檜山小学校校舎改築工事の進捗状況について

### 三、調査結果

（一）北檜山小学校校舎改築工事の進捗状況について

現在の北檜山小学校は、昭和三十五年から昭和四十年に

かけて建築され、以来四十六年が経過し、老朽化、また、

平成十五年度に危険校舎として認定されたことにより、公

立学校施設整備費国庫負担（補助）金を受け、改築工事が

進められていた。

平成十八年七月三十一日に校舎改築工事が完了し、八月

中旬に引越を行い、夏休み終了後の二学期から使用を開始

されることである。

屋体については、平成十九年七月から工事に着手し、平

成二十年四月から使用開始となる。また、校舎・体育館外

構工事、グラウンド造成工事等は平成二十年度に実施予定であ

った。

校舎については、障害者用トイレやエレベーターを設置するなどバリアフリー化されており、暖房設備については

いては、児童用いすど机は新しく購入となるが、現在使用可能なものは全て利用していくとのことである。

工事の進捗状況は順調に進んでおり、平成二十年十月で

全ての工事を完了し、十一月に落成式を開催する予定とな

っていた。

## 産業

### 一、調査年月日

平成十八年二月十日

### 二、調査項目

①農業センターの現状とあり

方について

### 三、調査結果

・農業センターの現状とあり方について

同センターでは、専従職員二名、臨時職員一名、また、

必要により作業員を雇用し、主な業務内容は次のとおりであ

った。

①試験栽培及び実証展示

②学校・町民体験農園、農業研修圃場の開設

③土壌分析

④農業後継者の研修

⑤MAMEDASによる気象観測

⑥試験成績表の作成及び情報の提供

⑦各種講習会の開催

同センターでは運営協議会による指導や、各農協生産部

会の代表者からなる研究部会を設置し、試験栽培等の業務

内容について協議し、土壌分析に基づいた土づくりの推進、

地域の特性を活かした収益性の高い作物や優良品種の導入、

各種情報の提供など、生産者のニーズに応えるため取組ん

でいるようであった。

しかし、同センターの取組みと生産者のつながりが見えて

いなく、関係団体・生産者と連携しながらセンターの運

営をより一層推進し、地域にあった試験栽培の効果を生産

者に的確にPRしてもらいたいなどの意見がだされていた。

今後の取組みについては、一層のPRの推進に努めると

共に、関係機関や生産者と一体となつて、将来の農業の発展に努めるとのことであつた。

# 建設

一、調査年月日

平成十八年二月十七日

二、調査項目

①新町建設計画における町単

独事業について

三、調査結果

・新町建設計画における町単

独事業について

新町建設計画については、

合併後の新町のまちづくりを進めていくための基本方針を定め、地域の均衡ある発展と住民福祉の向上を図るために策定されたものであり、町単独事業（建設水道関係）については、次の別表のとおりとなっていた。

地域エネルギーの活用で、道立地質研究所より一号井の水位が低下しているとの指摘があり、新たに代替として四号井を掘削する計画がある。

道路網整備の大成区の事業については、旧大成町において、過疎計画により計画されていたことから、新たに盛り込まれていた。

(単位：千円)

基本施策名	施策区分	地区別	事業名	総事業費	事業計画年度
自然と共生するまち	地域エネルギーの活用	北檜山区	温泉4号井開発事業 1号井代替施設整備	350,000	H19～22年度
多様な交流を生むにぎわいのある快適なまち	道路網の整備	北檜山区	町道南5号線改良事業 道路改良 L＝280m	34,000	H20～21年度
		〃	町道豊岡鍋坂線支線2号線改良事業 道路改良 L＝171.4m	23,000	H20～21年度
		〃	町道満俺線支線1～3号線改良事業 道路改良 L＝433m	57,000	H22～24年度
		〃	町道武沢線改修事業 法面保護、路面補修	30,000	H22～23年度
		〃	町道小川殖民線改修事業 危険箇所補修	30,000	H24～25年度
		〃	町道石淵線排水整備事業 側溝整備 L＝120m	8,900	H19～21年度
		〃	町道若松4号線改良事業 道路改良 L＝100m	10,000	H26年度
		〃	(仮)緑町4号線改良事業 道路改良 L＝120m	14,400	H25～26年度
		瀬棚区	町道島歌線維持補修事業 路盤・排水整備 L＝1,900m	39,784	H17～26年度
		〃	町道旭線改良舗装事業 改良舗装 L＝158m	2,500	H18～19年度
		大成区	町道白浜通線災害防止事業 災害防除工 L＝160m	162,000	H19～21年度 過疎計画記載分
		〃	町道宮野白別線側溝改良事業 側溝工 L＝500m	4,000	H19年度 過疎計画記載分
合 計				765,584	

この新町建設計画については、見直しによる変更や追加等が考えられるため、随時協

議をしながら進めていくこととなるが、対象となる補助事業があれば道や関係機関と協

議をして、町の一般財源を還元できるように努めていくことであった。

二月発行の議会だよりNo.三で二十八ページの委員会レポート(厚生)で金額に誤りがありました。

お詫びして訂正いたします。

③医療体制の実態についてはせたな町における公的医療機関は、北檜山国保病院、大成国保病院及び瀬棚医科診療所の三医療施設であるが、国保病院については地方公営企業法に基づき包括的の一つの病院事業として施設毎の財政状況が把握できるよう個別財務諸表を設けたうえで企業会計を採用している。なお、瀬棚医科・歯科診療所については、地方自治法に基づく特別会計を適用している。

自治体がもつ公的医療施設には、「公的使命から生ずる不採算要素」について国から地方交付税措置がなされており、病院にあっては病床数等を基準に二億三千三百三十万円、診療所にあつては施設単位を基準として一千四百二十万円で平成十六年度の旧三町合計額で約二億四千五百五十万円が



## 議会の動き

### ◆ 1 月 ◆

- 2日 大成区消防団出初式
- 3日 瀬棚区消防団出初式
- 5日 北檜山区消防団出初式
- 6日 瀬棚区新年交礼会
- 7日 せたな町成人式
- 10日 北檜山官公署団体長新年交礼会
- 12日 第1回臨時会  
第1回議員協議会  
第1回議員定数等調査検討特別委員会
- 20日 中央要望（21日まで 東京都）
- 24日 檜山管内議長会臨時会（25日まで 江差町）
- 30日 第2回臨時会  
第2回議員定数等調査検討特別委員会
- 31日 第2回議員協議会

### ◆ 2 月 ◆

- 3日 檜山管内議会議員研修会（厚沢部町）
- 6日 北部檜山衛生センター組合議会し尿処理施設調査特別委員会
- 7日 総務文教・厚生常任委員会連合審査会
- 8日 第3回議員定数等調査検討特別委員会
- 9日 議会広報発行特別委員会
- 10日 第1回産業常任委員会  
新成初午大漁祈願祭
- 17日 瀬棚区海上安全・大漁祈願祭  
第1回建設常任委員会  
第3回議員協議会
- 23日 北檜山いきがい学園修了式  
北部檜山衛生センター組合議会定例会
- 24日 第4回議員協議会  
第4回議員定数等調査検討特別委員会
- 27日 総務文教常任委員会
- 28日 第5回議員協議会  
第1回議会運営委員会  
第5回議員定数等調査検討特別委員会

### ◆ 3 月 ◆

- 3日 第1回定例会（1日目）  
第2回議会運営委員会
- 5日 自治医科大学要望（7日まで）
- 10日 瀬棚区地域懇談会
- 13日 第1回定例会（2日目）
- 14日 第1回定例会（3日目）
- 15日 予算審査特別委員会（1日目）
- 16日 予算審査特別委員会（2日目）  
第3回議会運営委員会
- 17日 予算審査特別委員会（3日目）  
第4回議会運営委員会
- 20日 予算審査特別委員会（4日目）  
第1回定例会（4日目）
- 22日 医療対策等調査特別委員会
- 23日 檜山広域行政組合議会定例会  
せたな町教育文化スポーツ奨励表彰式
- 28日 第5回議会運営委員会
- 31日 檜山支庁存続要望

国の繰出し基準により措置され、さらに地方交付税でカバーできない部分について基金を含め約七千八百三十万円（うち大成国保の経営健全化分約四千五百五十万円を含む）が町単独財源として繰入れ措置されている。

平成十六年度末における国保病院の決算状況は、北檜山国保病院が八百七十三万円、大成国保病院は六百九十四万

円の単年度損失となっており、財務の状況は北檜山国保においては流動負債に対する流動資産の比率、いわゆる流動比率は約六〇〇％で起債残高は約五千四百五十万円、大成国保の流動比率は約二〇％で約二億三千三百五十万円の不良債務を有し、起債残高は約五千二百十万円である。

このため、合併後においては企業会計のルール上、北檜

山国保が大成国保の不良債務を補う形でスタートすることから、企業の安定度を示す流動比率は約一三〇％に低下し病院事業として危機的な状況にある。

一方、診療所特別会計においては、減価償却の義務付けがなく、かつ前年度の繰越金約一千八百五十万円を含むため約一千六百九十万円の黒字決算であるが、起債残高につ

いては約二億八千三百四十万円となっている。  
（表については訂正箇所がないため省略いたします。）

## お願い

議会議長宛ての案内・文書等は、議事事務局へ提出して下さい。

## 編集後記

◆ 今回の定例会では、十五名の議員から、三十八問の一般質問がありました。議員数が多いのも確かですが合併により色々な問題が提起されている事も事実だと思います。

◆ これらの質問は先ず録音したものを文字に変え、それぞれ質問者の方に一人三問以内一回目の質問、再質問と再々質問をそれぞれ三九〇文字以内に整理、要約した文章を六人の広報委員が分担して読返した後、議事事務局と広報委員で読返し、議員の思いと理事者の思いを出来るだけそのままと伝わるように話し言葉の質問、答弁が、箇条書きや表になったり、番号を打ったりと一字一句思考錯誤して校正されたものが議会だよりに掲載されます。

◆ 年四回と限られた議会だよりですが、傍聴に来られない方や、後に記録として読んで下さる方など広く町民の方に議会の一端を正しく公平に伝えるようこれからも努力して行きたいと考えております。

### 議会広報発行特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 阿部 馨  |
| 副委員長 | 菊地 繁雄 |
| 委員   | 大根田 登 |
| 委員   | 熊野 主税 |
| 委員   | 正村 敬寛 |
| 委員   | 澤田 光子 |